

TV会議が外へ飛び出した !! つなごう世界へ、広げよう未来へ

ー携帯端末を用いた、コラボレーションの可能性を試すー

仙台市立北六番丁小学校 教諭 永井 一也

kazuya99@sendai-c.ed.jp : http://www2.sendai-c.ed.jp/~kitaroku/

キーワード：小学校、学校間交流、TV会議、携帯電話、TV電話機能、ビジュアルネット、大学との連携

1. はじめに

TV会議をはじめとして、電子掲示板や電子メールなど、様々なIT機器を活用し、学校間交流も盛んに行われるようになってきた。家庭におけるコンピュータ、インターネットの利用率も次第に増え、学校 Web ページへのアクセス数も格段に増えてきている。最近では携帯電話の普及が特にめざましく、学校と家庭との連絡においても中心的な役割を担うようになってきた。

携帯電話に様々な機能が付加されたことで、教育現場での活用の広がり期待できるようになってきた。特にTV電話機能、それも外部出力機能を持ったことに注目したい。この機能により、プロジェクター等に簡単に接続することができ、TV会議がより身近に実現できるようになったと考える。また、外部出力機能によって、今まで設備の整った教室でしかできなかったTV会議が学習の場と学習の場を結ぶことが可能となったのである。

携帯電話の持つ可能性を追究し、これまでの学校間交流の実績や課題を踏まえながら、「TV会議が外へ飛び出した!! つなごう世界へ広げよう未来へ」をテーマに携帯電話の教育面における有効性を実践を通して明らかにする。

2. プロジェクトの概要

学校間交流での活用

画像 1



○TV会議を青空の下で行おう
教室や学校の枠を超えて、TV会議を実践することができた。学習の場である学区内の梅田川と学校間交流校を結び、児童の活動の様子を伝えることができた。画像入力機能がついたポータブル外部モニターを使用し、相手校の様子を見たが、音声の問題や機器に関する課題が残った。

○様々な地点を結んでのTV会議

画像 2



ビジュアルネットを活用して

○通信を安定させる

現在まで8回のTV会議を実施。そのうち3回がビジュアルネットを使い、3～4地点を結んでTV会議を行った。通信速度が決して速いわけではないので、映像の解像度に限界があり、細かいものを相手に伝えるまでにはいかないが、常に安定した通信を行うことができた。

画像 3



画像 4



ビジュアルネットを活用し、学校間交流校、大学との3地点を結んでのTV会議を現在までに3回実施している。時間的な問題、空間的な隔たりを感じることなく気軽にTV会議を行うことが可能であり、交流学习を進めるにあたって非常に有効であった。

○リアルタイムな情報発信

画像 5



○携帯端末から情報発信
メール機能を活用し情報発信
携帯端末で画像を記録
学校webへ情報をリアルタイムに掲載
blogへの投稿

※画像 1 = 学習活動の場 (川) から交流校へ
※画像 2 = 本校体育館 (液晶プロジェクターを使用)
※画像 3 = 東北工業大学近藤研究室 (液晶TVを使用)
※画像 4 = 交流校 (大画面TVを使用)
※画像 5 = 学校web 修学旅行の速報のページ

3. 成果と課題

実践を通して、携帯端末(携帯電話)の教育面における有効性が確かめられた。特に学校間交流がさかんになり、様々な機関との連携が重要性を増す中、TV電話機能を用いたTV会議は、子どもたちの学習活動を大きく広げるものとする。セキュリティの問題等からネットワークは閉じられる方向にあり、その枠を越えることが困難になってきている中、携帯端末はその機動性はもちろんのこと、外との交流を支える重要な道具として、ますます活用されるものとする。

